

お知らせ

JRA-55 熱帯低気圧解析の不具合について

気象庁 55 年長期再解析 (JRA-55) について、太平洋東部及び大西洋の北半球側の熱帯低気圧が 1959～1987 年の一部期間において高気圧性循環の渦となっていることが判明しました。不具合のあった熱帯低気圧の日時・位置の一覧については別添資料をご覧ください。

【原因】

JRA-55 では、熱帯低気圧に伴う気圧や風速等を解析するため、一部期間について部外から取得した熱帯低気圧情報（様々な観測から推定された熱帯低気圧の中心位置、最大風速等に関する情報）を利用しています。当該熱帯低気圧情報では、最大風速が欠測であることを示す値として“-999”が用いられていますが、上述の一部の領域と期間では“-99”が用いられていました。今般判明した不具合は、再解析の計算を行う際に、“-99”という値を最大風速として誤って用いたことが原因です。

【影響】

不具合のあった熱帯低気圧では、その中心位置から半径およそ 1000km 以内の対流圏（地表面～100hPa 程度）において不自然な気象場となっています（不具合の例については図 1 をご覧ください）。該当領域・期間のデータをご利用の際は、不具合のあった熱帯低気圧の日時・位置の一覧（別添資料）をご参照のうえ、不具合の影響を確認していただきますようお願いいたします。

利用者の皆様には、大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

● 別添資料

- 不具合のあった熱帯低気圧の日時・位置の一覧
 - (太平洋東部) anti-cyclonic_TC_E_ja.txt
 - (大西洋) anti-cyclonic_TC_L_ja.txt

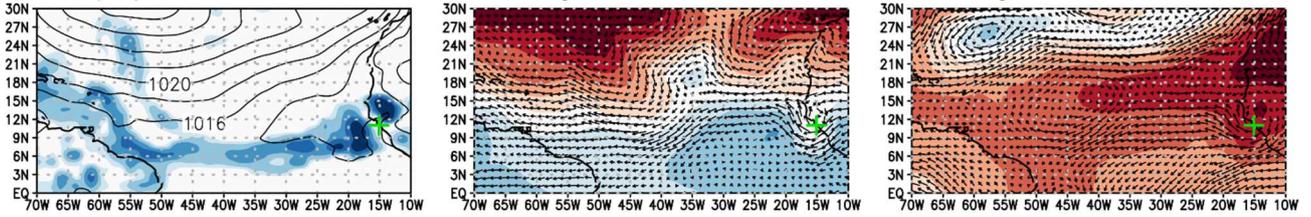
問い合わせ先

気象庁地球環境・海洋部気候情報課データ処理係

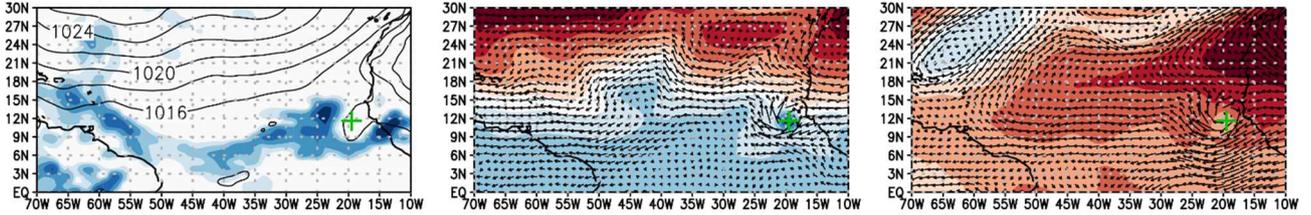
電話 03-3212-8341 (内線) 3164

メールアドレス : jra@met.kishou.go.jp

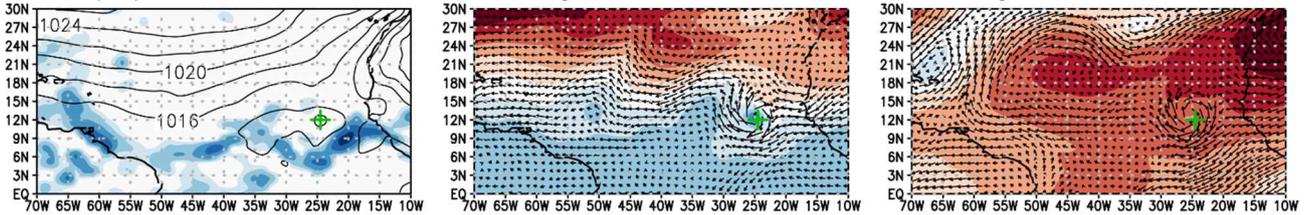
1967年7月5日12UTC、熱帯低気圧の中心位置(11.0N, 15.1W)



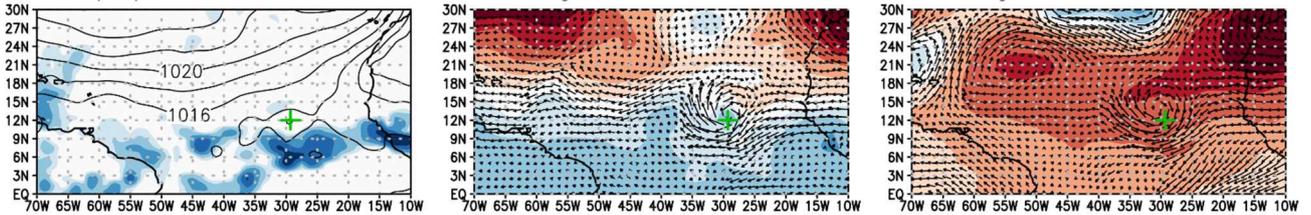
1967年7月6日12UTC、熱帯低気圧の中心位置(11.6N, 19.5W)



1967年7月7日12UTC、熱帯低気圧の中心位置(12.0N, 24.5W)



1967年7月8日12UTC、熱帯低気圧の中心位置(12.0N, 29.3W)



1967年7月9日12UTC、熱帯低気圧の中心位置(12.0N, 33.9W)

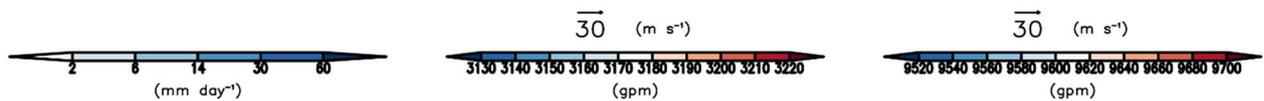
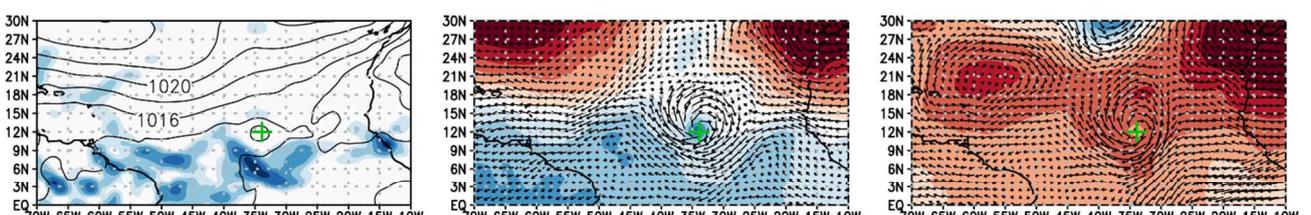


図1 1967年7月5～9日に大西洋で発生した熱帯低気圧1967/05LのJRA-55における表現

(左列) 等値線は海面更正気圧、陰影は12～15UTCの降水量、(中列) ベクトルは700hPa風、陰影は700hPa高度場、(右列) ベクトルは300hPa風、陰影は300hPa高度場。+印(緑)は熱帯低気圧の中心位置。

不具合のあった熱帯低気圧では、中心付近において降水量が少なく、対流圏下層では低気圧性循環の基本場の中に逆向きの高気圧性循環が埋め込まれ、対流圏上層では高気圧性循環の基本場の中で高気圧性循環が強まる影響が見られる。